

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こばんはうすさくら 浜松原島教室

公表日 令和8年2月20日

利用児童数 19名

回収数 17名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	3	0	0	・建物の構造上仕方がないと思いますが、子どもの人数に比べ十分とは言い難いように感じます。 ・もう少し広いとのびのび遊べる。	・利用人数が多い時には、放デイの教室も使うなどして活動のスペースを広げ、子どもたちがよりのびのびと過ごせるよう検討していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	0	0	0	・玄関にて当日誰がどの子に付くか可視化されているのが素晴らしいと思います。 ・優しくて安心する。 ・一人一人丁寧に見てもらえてる。	・今後も子どもたちが安全に、より良い療育が行えるよう十分な職員配置のもと、支援を行なっていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	2	0	2	・床面にテープを貼るなど工夫されていると思います。 ・どこに何があるか理解できているみたいです。 ・教室内を見る機会がないのでわからない。 ・机と椅子は常時設置されているわけではなく、必要な時に出されるため。	・教室内の環境設定や、子どもたちの一日の様子など、保護者の皆様により分かりやすく伝えるよう、お便りや写真を通してお知らせしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	2	0	0	・その都度出したり片付けたりは大変だと思うけれど、それ自体も活動のひとつだと思う。 ・子どもたちが過ごすスペースはいつも清潔にされている。	・今後も子どもたちが、清潔で心地よく、安全に過ごせる環境を作っていけるよう職員一同寄り良い環境設定に努めてまいります。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	0	0	・面談や送迎時の連絡で十分な伝達がされていると感じる。 ・苦手なこと得意なこときちんと見て支援してくださってるので家でもその支援のおかげで助かってます。 ・子どもの性格や特性に合わせた声かけをしてくれてます。 ・子どもの特性に合った指導をしてくれている。	・子どもたちそれぞれの特性に合わせ、専門的な支援も含めて職員全員が共通理解のもと、支援を行なっていけるよう配慮していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	3	・支援プログラムは見えていないので分からない。私が見ていない、もしくは忘れてるだけかもしれないが。	・公表されている支援プログラムの配布等を含め、事業所の活動が保護者に周知され、同意のもと家庭と連携して支援が行われるよう対応していきます。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	3	・計画の可視化もスムーズで十分だとおもいます。 ・まだ年長なのでわかりません。 ・計画がはっきり分かるのでいいと思います。 ・子どものニーズと親の要望も踏まえ作成して下さいました。 ・保護者面談で保護者のニーズを把握し、それをもとに計画が立てられている。	・今後も引き続き、お子様のニーズと保護者の願いを含めた計画づくりを行っていきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	0	・面談にて家庭での支援と、園での支援が具体化されるので不安に思いません。 ・細かく設定されていると思います。 ・計画では、子どもへの支援に関していくつか項目分けされ、具体的に内容が書かれている。	・今後も引き続き、本人支援、家族支援、移行支援を細かく説明し、ご家庭と連携しながら支援計画を作成していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0	・今日はこれをしたなどリトムにて明確です。 ・支援のおかげで苦手なことや、やって頂きたいことができてと思います。 ・送迎時、適宜報告してくれます。 ・事業所では母子分離のため子どもの様子を見ているわけではないが、送迎時や面談時に職員から報告を受けており、計画に沿った支援ができていますと思う。	・今後も支援計画に沿った活動内容を検討し、個別活動の幅を広げて、本人のできることを増やしていけるよう配慮します。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	2	0	2	・同じ追いかけてこでも新しいルールや違う条件の遊びをよく取り入れていると思う。 ・詳細が分からない。 ・色々な公園に連れて行ってもらえるので、子どもも喜んでます。 ・活動内容は日々異なるので固定化されてはいない。	・活動内容やお子様の様子がより細かく、分かりやすく伝えられるよう配慮していきます。

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・うちの子の場合はまだないというだけ。子供の状態に合っていれば必須ではない。 ・他の地域の子供たちとの交流はあまりしたくないです。 ・機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方々の意向を確認しながら、子ども達が地域での交流の経験を積んでいけるよう検討してまいります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・入所時に細かく説明があった。 ・丁寧な説明があった。 ・事業所の利用開始前に説明を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入所以降も、事業所利用に関しての保護者の方の疑問やご意見を取り入れられるよう職員全員で周知し、改善に繋げていきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとつひとつ支援内容の説明ありました。 ・丁寧にしてくれました。 ・面談時に計画を見ながら、支援内容の説明を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、お子様の成長を共に共有し、より分かりやすく支援内容について伝えられるよう配慮してまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	0	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの案内が時々あります。 ・情報提供されています。 ・こういときはこうした方がいいと教えてくれます。 ・家族向けの講習会がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の皆様が参加できる研修や情報の場を提供し、ご家庭と連携して子どもたちの支援を行っていただけるよう配慮してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時など、毎回状況を教えてもらってます。 ・その日の事や気になったことを伝ええています。 ・毎回の送迎時に今日やったことの報告を受けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園送迎のご家庭や利用回数の少ないご家庭にも、お子様の様子やご家庭の様子を相互共有できるよう、電話連絡等で情報共有を図ってまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・面談にて実施されている。 ・面談ではなんでも相談でき、それにあった答えもくれるので親の私達も救われています。 ・定期的に保護者面談がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、ご家族との面談の場を設け、ご家庭と連携して支援を行っていただけるよう配慮してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の支援には感謝しかありません。 ・いつも寄り添った声かけをいただいています。 ・職員は子どもの発達に関する悩みを共感してくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続きご家庭と連携しながら、子どもたち一人一人に寄り添った支援を行ってまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	1	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・あるのかないのか不明だが、特に必須とも思わないため、気にならない。 ・特に他の家族との交流も今のところ望んでないです。 ・運動会など他の保護者や兄弟と交流できるので嬉しく思います。 ・保護者同士の交流の場はふれあいデーがある。きょうだい同士の交流の場は運動会がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの保護者の方の意向を確認しながら、保護者の方同士の交流の機会を持てるよう検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・対応早くて助かります。 ・あまり機会がないので分からない。 ・面談や電話で相談できてると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方が相談しやすく、事業所が頼れる存在でいられるように、普段から保護者の方々と密にコミュニケーションをとっていただけるよう配慮します。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・問題ありません。 ・定期的に面談がある。また、毎回リトムで意思疎通をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、定期的な面談とご利用時の連絡帳、送迎時の対応、必要に応じて電話連絡等を行い、意思の疎通、情報共有や伝達を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・紙で行事内容を教えてくれるので子どもと話しながら見るができます。 ・SNSの活用はないが、プリント紙で発信されていると思う。 ・毎月のお便り楽しみにしています。 ・毎月こぼんがよりが配られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所ではSNSでの発信は行っておりませんが、保護者が参加される行事などでは、写真や動画にて普段の子どもたちの様子を見ていただくなど、保護者の方々が安心できる、より開かれた情報公開、掲示の仕方を検討してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いについては事業所の利用開始前に説明を受けた。 ・問題ありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も個人情報の取り扱いには十分留意し、職員が共通理解のもと、徹底した個人情報の取り扱いを行っていただけるよう努めてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にされていて素晴らしいです。 ・事業所の利用開始前に説明を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、各マニュアルについて職員の理解を統一し、訓練の詳細や各マニュアルについて保護者に周知できるよう配慮してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を定期的にやってくれるので家で少しの地震があった時も、頭を守って低くと子ども自らやってくれます。 ・子どもにもわかるようにしっかり教育してくださってます。 ・職員と子どもたちが近くのイオンに避難する避難訓練が定期的に行われている。また、災害発生時の親への連絡のLINEも定期的に訓練がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・起こり得る自然災害や、様々な状況下での訓練を重ね、どのような状況でも子ども達の安全が確保できる対応を協議し、訓練を重ねてまいります。

応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・安全の確保についての計画内容は分からない。 ・災害時の子どもの安全の確保については、事業所利用開始前に説明を受けた。 	・子どもたちの安全確保について、より分かりやすい説明を心掛けてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・転んだこともなぜ転んだかを丁寧に説明してくださり安心できます。 ・事故や怪我が発生していないので、分からない。 	・今後も事故や怪我が発生した際には細かく状況を伝え、その後の様子についてもご家庭と連携して見守っていただけるよう配慮します。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・息子はごはんが大好きです。 ・それが何よりの支援です。 ・毎回楽しそうに行ってます。 ・安心してゐるからこそ行き渋りもなく楽しんで行けています。 ・事業所の職員によく懐いている。 	・今後もご家庭と連携しながら、子どもたちが安心して通うことができる環境を提供し、手厚い支援を行なっていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日楽しみにしています。 ・子どもの成長とともに伸びるものだと思います。 ・明日ごはん？と寝る前に聞いてくるぐらい楽しみにしています。 ・行く前は行きたくないと言う日もありますが、行ってしまえば楽しんでいると思う。 ・いつも迎えに来ると笑顔で向かっていくので感謝しております。 ・子どもは毎回楽しそうに通っている。祝日にはイベントがあり、楽しんでいる。 	・今後も子どもたちの成長をご家族の皆様と一緒に感じながら、一人一人に合わせた支援内容を提供できるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも先生方の温かい支援に感謝しています。 ・いつも楽しみに通っています☺ ・お世話になっていた先生方が急にいなくなってしまい、挨拶も出来なかったので教えて頂きたかったです。 ・とても良く見てくださり支援してくださるので成長が見えて嬉しく思います。 ・利用できて良かったと感じています。 ・事業所に通い始めてからできることが増えた。発語がなかったのがよくしゃべるようになったし、トイレができるようになった。 	・保護者の方々にはいつも多大なるご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。今後もお子様の成長を共に感じ、相談し合いながら、より良い支援を行なっておけるよう、職員一同、誠心誠意携わらせていただきます。教室を離れる職員について、配慮が足らず、申し訳ございませんでした。保護者の方々への周知の時期や方法について今後検討させていただきます。

事業所名		公表日 令和8年2月20日				
ごぼんはうすさくら 浜松原島教室						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	4	小集団を活かしている点。個別での対応が必要な時にはパーテーションを利用している。	クールダウンのスペースが別にないので他児と離れた場所を利用している。個別で対応が必要な時に区切りがない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	職員の急遽の休みや利用人数が多い時等、放デイの職員に協力してもらいながら対応できている。	職員の急な休みや研修時など状況に応じて少ないと感じる時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	トイレに行く時の待つ所を色分けしていて、子どもたちがどの場所に自分が行けばいいかわかりやすくなっている。事務所側から子どもたちのスペースが見られる環境になっている。	1フロアのみなので、衝立で玩具や教材を仕切っている。ぐらつきがあるので不安定さを感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2	コーナー遊び等遊びごとに空間を設けており、安全に配慮している。清潔を保てるように日々の清掃をし、子どもたちにとって不具合がないか常に確認している。	窓が開放しているので、換気は良いと思うが、底冷えする。カーペットをもっと定期的に洗浄したほうがいい。お昼寝マットが傷んだり匂いが付いたりしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	放デイが使っていない時は、使用させてもらうことがある。	もう1つ部屋があれば、クールダウンにも使用でき、より良いと思われる。放デイが来所している時には個別空間がとりにくい。パーテーションで仕切らないと個室を作ることができない。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	毎日の終礼で、その日の振り返り、今後の取り組み方など話し合ってみるで情報共有している。取り上げられた事例に対し、振り返りと今後の目標、対応について児発職員全員で話し合うことができている。	個別の事例をPDCAサイクルのもと、検討しあえる時間を確保していきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	頂いたアンケートを基に話し合い、今後の業務に繋げている。改善すべき点を職員間で検討していると。アンケートの結果を踏まえてイベントの内容を考えたり内容を精査している。	保護者の意見を抽出し、改善に努められるよう日頃から密にコミュニケーションをとっていけるよう配慮したい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	日常の業務の中で意見を交換する機会がある。終礼の時に意見交換等で切るように皆が意識している。	職員の意見を募る機会が少ないため、それぞれの職員の意見が通るような環境を整えていきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	やっているのは知っているが、内容についてよくわからない。教室外の職員の意見を取り入れることもある。	外部評価の結果が周知されていないことがある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	内部研修として毎月パソコン研修、定期的に外部研修に参加している。職員の研修はよく行われていると思う。	特定の職員のみが外部研修に参加した場合、内容が共有されると良い。様々な研修の機会があるが、紙が貼ってあるだけでアナウンスがないので参加できない研修もあった。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	保護者に説明を行っている。プログラムを作成し、保護者に対面または電話にて説明し、同意を得ている。期間を設けて支援についての話し合い等行われている。	ネットで公表しているようだが、確認できていない。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	面談なども活用し、家庭での様子、希望、ごぼんでの今後の目標を話している。その内容を支援計画書に反映させている。日々の送迎や面談で保護者の困り感やニーズを抽出できるよう心掛けている。	日頃の送迎時やリトムで保護者のニーズはお話しできていると思うが、子どものニーズは確実に聞き取りができているとは言えない。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	児発職員全員で担当者会議を行っている。サ担を行い、共通理解のもとに支援計画が作成されている。担当者会議で次期計画について周知されている。	児発職員だけでなく、放デイ職員の意見も取り入れ、より視野の広い担当者会議を行っていきたい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	児発職員全員で面談の内容なども参考にして支援計画を立てている。計画を確認しつつ、支援を進めている。	児発職員には共有されているが、放デイ職員に共有できていないことがあるので周知していきたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	定期的に皆で話し合いながら行っている。全体の流れの日報と別に個人記録を行い、それぞれの子どもの日々の様子や特性、表れを細かく記録している。	職員間で検討しながら確認しているが、実際の所よく分からない。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	必要に応じて、利用している関係機関と情報交換や担当者会議を開いている。いろいろな項目があるが、皆で検討して内容設定をしている。	本人支援の共有が主になっていることがあるので、家族支援や移行支援、地域支援や地域連携に関しても職員間で共有できるよう配慮していきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	月末に全員で活動内容を決めている。必ずチームや職員間に提示して共通理解を図っている。	月案作成が予定より遅れてしまうことがあるので、余裕を持って活動の準備を行っていくことができるよう計画していきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	様々な活動内容があり、活動が固定化しないよう配慮している。振り返りも含め、常に検討できるようにしている。	天候不良や子どもたちの体調、職員の数によって活動内容が重なってしまうことがある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	集団行動、個別で動く活動等を組み合わせている。個人の状況を確認し、共通理解できるよう作成している。個別での計画だけでなく、集団の中での本人強みや目標を明確化し、計画に反映している。	個別の活動の幅を広げ、それぞれ子に応じたきめ細やかな支援を行なえるように配慮したい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	活動内容によってはよっては事前に打ち合わせを設けている。毎日、朝礼でその日の活動を打ち合わせしたり、ボードに各職員の担当することを明確化している。	児発職員以外が支援に携わる場合、役割や対応方法を事前に伝え、職員間で統一した支援が行われるよう配慮していきたい。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	必要に応じ、対応を協議している。必ずその日に振り返りをして、情報共有、次への参考になっている。	その日のうちに終礼が最後まで終わらず、次の日に持ち越されることもたまにある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	毎日個別の書類、業務日報に残している。	振り返った時に状況がはっきりとわかるように記録したい。日々記録をとっているが、翌日などに記入することもある。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	終礼や担当者会議の時などに話し合いをし、見直しができていると思う。時期を決めてモニタリングを行い、見直しをしている。	じっくり話し合う時間がとりにくい。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	内容を職員に共有し、児発管や施設管理者が出席している。参加する職員だけでなく、児発職員内でその子の様子について様々な面から聞き、偏りのない見方で参加しているよう心掛けている。	様々な視点で様子を伝えられるよう、参加する職員だけでなく、児発職員内でしっかりと情報共有し、会議に臨めるよう努めていきたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	必要に応じて話し合えている。併行通園先や相談員などと話をする機会を設け、情報共有している。	今後も必要に応じて各関係機関と連携をとり合い、様々な視点から支援していけるよう配慮したい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	必要に応じて電話や園訪問、面談等で情報共有し、今後の対応について協議している。	年に一回の園訪問だけでなく、保護者の希望や併行通園先とのやりとりの中でお互いの施設での様子や情報を共有し、今後の対応に活かせるよう配慮していきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	浜松市のかけはしシートを活用している。その個人の状況を知らせ、相互に理解を持つようにしている。かけはしシートを持参し、その子の情報をより細かく伝えられるように配慮している。	必要に応じて連携をとり合い、切れ目のない支援を心掛けていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	3	2	常に連携が取れるよう配慮している。	助言を受けたと聞いたことがない。助言を受けていたとしても周知されていない。職員がしっかりと周知できる環境づくりに努めたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	公園での活動でこども園の子達と交流する機会はある。同じ組織内で他教室との交流を持つこともある。	しっかりと計画の下での交流はない。交流の必要性を感じるが、なかなか実現できていない。園との関わりはない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	気になる点は保護者に確認し、職員間でも共有している。リトムに記載したり、送迎時などに報告している。常に共通理解の意識を持って保護者に対応している。	なかなかコンタクトが取れないご家庭に対し、より細かく電話連絡等を行い、連絡帳だけでなく、子どもの様子を共有できるように配慮したい。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	講演会を開催したり、必要に応じて保護者と話をする機会を設けている。地域である家族支援プログラムの広告などを配布している。保護者向けに研修等の情報を提供している。	情報がないので答えられない時がある。各職員が配布物や講習会の情報を十分に理解して保護者の元に届けられるよう配慮したい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	してくれていると思う。文書はもちろん口頭でも行う場合がある。	口頭や書面で伝えてはいるが、保護者の捉え方は分らない。契約時に伝えているはずだが、理解しないまま利用している方も多い。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	面談などで保護者の方と子どもに最善な生活が送れるよう話し合う機会を設けている。家族意向は聞いている。原案を保護者に提示し、承諾を得て本案を作成している。	面談だけでなく、普段からご家庭の様子や本人の様子を細かく共有し合い、より本人のニーズに近いものや保護者の思いを含めた計画を作成できると良い。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	対面または書類を渡したうえで電話にて説明している。計画書の説明を必ず行い、同意を得ている。	対面で行っているが本人支援の部分が主になってしまい、家族支援や移行支援等まで細かく説明できない時がある。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	内容によって持ち帰り、確認して再度答えることがある。必要によっては関係機関に連絡している。年二回は面談を行っており、必要に応じてその他でも面談の機会を作っている。	送迎時や連絡帳では保護者の悩みを抽出しきれない。もう少し話を聞く機会を設けられると良い。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	ふれあいデーを設けて、保護者の交流会を作っている。運動会やコンサートなど親子で参加できる活動を画策している。	あまりできていない。回数が多くない。保護者同士の交流はほぼ無い。年に一度あるが、参加しない場合は一度も保護者同士の交流がないまま一年が終わる。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	送迎時などすぐに返事ができない時には確認次第返事をしている。それぞれの職員が問われている内容に対してすぐに施設長に報告し、迅速な対応ができるよう配慮している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	月一回のお便りや園フォトで活動の様子が分かるようにしている。毎月のお便りで日々の状況を知らせたり、毎日の子どもの様子をノートで伝えている。	SNSでの発信は行っていないが、保護者の希望や、よりたくさんの保護者がごぼんでの様子を確認できるよう開かれた発信方法を検討していきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人書類など鍵付きの書庫に保管している。送迎時の書類など、第三者に情報が漏れないようにするなど配慮している。	送迎時の書類が表向きになっていたり、事務所内で個人情報のメモなどが置かれたままになっていることがあるので、細かな所まで配慮し、職員間で統一させていきたい。

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	保護者の方とこまめに話し、情報共有している。絵カードやジェスチャーなどを使い本人の要求を汲み取れるよう配慮している。その様子を保護者に分かりやすく伝え、家庭と連携している。	園送迎の保護者など、日常的に細かく意思の疎通をとることが難しい家庭に対してこまめに電話連絡を行う等情報伝達に努めていきたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	今後計画していきたい。	まだ行っていない。必要性は分かるが、地域との交流の機会がとれていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	定期的に訓練を行っている。情報共有を図っている。避難訓練は保護者に通知して行っている。	災害による避難や対策の身になっているので、不審者対応や緊急時の対応として有事の際に安全に行動できるよう検討していきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	2	年間で計画し、時期を決めて避難訓練を行っている。	避難訓練のみ。毎年決まった災害だけでなく、あらゆる自然災害や起こり得る状況を想定した訓練を行ってきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	服薬などチェック表を作り、共有している。契約時に情報収集し、職員間に周知している。服薬依頼書と口頭で内容を確認している。	服薬内容に変更があった際に確認が遅れてしまうことがあるので、服薬のある利用者には普段から様子を細かく聞き、家庭と連携して共有できるよう努めたい。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	保護者より必ず確認をとっている。書類に残している。	食物アレルギー該当者なし。今後該当者がいる場合には保護者に細かく聞き取りを行い、適切に対応していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2	行えている。担当者より必要事項を知らせてもらい、それに沿って支援している。	行うようにしているが、できていない時もある。安全計画が周知されていない。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	必要に応じて保護者に伝えている。おそらくできている。	家族に周知されていると思うが、契約時にされているのか、他職員には周知されていない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	報告書の書類に記入し、皆で情報共有している。終礼時に報告し、同時に対策の話もしている。	ヒヤリハットについてもう少し検討する時間がとれたらと思う。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	必要に応じてパソコンなども使い、定期的に行っている。虐待防止のための研修の機会があり、必ず受けている。	研修以外でも職員間で虐待防止について話し合う時間が持てるよう配慮したい。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	必要に応じて事前説明を行い、保護者にも説明をしている。計画書にも記載している。	必要があれば記載するが、今は該当者がいない。